

平成25年11月21日

日本の消防車の活躍に期待

平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力事業（「ペマガツェル県及びルンツェ県における中古消防車整備計画」）供与式の実施

平成25年11月4日、ブータンの首都ティンプー市で、平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力事業（「ペマガツェル県及びルンツェ県における中古消防車整備計画」）の供与式が行われ、2台の日本製中古消防車がブータン警察本部消防局へ引き渡されました。この供与式には、ブータンからキプチュ・ナムゲル警察長官ら、日本国大使館から萩原真由一等書記官が出席しました。

今回の事業は、総額2万1,306ドル（約209万円）のプロジェクトで、財団法人日本消防協会から寄贈された2台の消防車に対し、草の根無償資金協力事業を通じて、車両の整備と日本からブータンまでの輸送を行いました。

ブータンでは、木造家屋が多いことや国土の約8割が森林であることなどから、火災に対して脆弱な地域が多く、消防サービスの強化が課題となっています。

我が国は、これまでも、平成22年度草の根無償により4台、平成23年度草の根無償により2台、平成24年度草の根無償により2台の消防車をブータン警察本部に供与しています。山道が多く寒冷な気候のブータンでは、日本の消防車のコンパクトな車体や耐久性の高さが非常に評価されています。また、これまでに供与された日本の消防車は、ブータンの人々によって大切に維持管理されており、1980年代のモデルの消防車も、今でも現役で活躍しています。

今回供与された2台の消防車は、ブータン東部のルンツェ県とペマガツェル県（ティンプーからそれぞれ約500キロと約700キロ）において、消防活動に活用される予定です。

今回の事業が、ブータンの消防サービスの改善に寄与すると同時に、我が国とブータンの友好関係をより一層強化することを期待します。



引き渡された2台の消防車



消防車の鍵の引き渡し
（ナムゲル警察長官（左）と萩原書記官（右））

ブータンのテレビや新聞でも、今回の供与式の模様が紹介されました。

記事 URL :

<http://www.kuensonline.com/japan-donates-two-more-fire-engines/>

ブータン警察報道発表 :

http://www.rbp.gov.bt/more_news.php?nesid34551245671=116